



NPO PTPL “ともいき” 便り No.167

平成 31 年（2019 年）3 月 21 日発行

■春分（しゅんぶん） 平成 31 年 3 月 21 日から 4 月 4 日までの節気

町を歩いていると、モクレンの白い花が咲いているのをよく見ます。モクレンは地球上の花木の中で一番古く、一億年以上も前から同じ姿で咲いているのだそうです。そして毎年この時季になると、忘れずに花を咲かせてくれるのですから、自然ってすごいなと思います。二十四節気では、3 月 21 日から 4 月 4 日まで、「春分」の節気に入ります。この日は太陽が真東から昇り、夕方真西に沈むので、昼と夜の長さが同じです。“暑さ寒さも彼岸まで”と言われてきたように、まさに春爛漫のころです。

3 月 21 日（木）は、春の彼岸の中日。春分を中心にした 7 日間が春のお彼岸です。この期間にお墓参りをして、死者の来世における安楽を祈り、霊を慰めます。お墓参りに行かれる方も多いと思います。我が家も、夫と私の家の先祖代々のお墓、そして愛犬のお墓に行きます。今年は愛犬が亡くなって 23 年目になります。卒塔婆を申し込みました。お彼岸にはぼた餅を食べますが、なんと、いつも買う和菓子屋さんが先週閉店してしまいました。昭和 29 年に開店して以来、季節ごとに美味しい和菓子を販売してくれました。私は季節の上生菓子の姿とその菓銘を見比べながら、何を買おうかなと迷うのが楽しみでした。お正月ののし餅も、孫たちの初誕生の一升餅も、お客様がきた時にお出しする和菓子も、そのお店で買いました。一体、これからどこで買えば良いのでしょうか。閉店する前に、このお店で一番好きだった甘辛だんごを買いました。長い間ありがとう。ゆっくり味わって食べました。

「季節よもやま事典」（東京堂出版）という本があります。気象キャスターの先駆け、倉嶋厚さんが書かれました。その春分の章に、倉嶋さんが、小学校三年のときに習った唱歌「木の芽」の歌詞を紹介しています。倉嶋さんは大正 13 年生まれですから、小学 3 年というと昭和 9 年ぐらいでしょうか。その歌

詞を紹介します。

ゆうべの雨でうまれたか 今朝の光でそだったか
赤や緑やさまごまの色美しい木の新芽

ひにひにのびるよ木の新芽 春の力を身に受けて
赤も緑もいつしかに みな美しい葉となるよ

みじかな自然の移ろいを、やさしくわかりやすいことばであらわしている歌だなあとと思います。このような素朴な歌が、今はあまり歌われなくなっているのがさみしいです。歌だけではなく、木の新芽に気づく人も少なくなっているのかもしれない。

3月27日(水)は、「さくらの日」です。日本さくらの会が1992年(平成4年)の今日、制定しました。日本を代表する花である桜への関心を高め、花と緑の豊かな国土づくりを目的としています。七十二候の一つ「桜始開」(さくらはじめてひらく)の期間に27日(今年は3月26日から3月30日まで)が入っていることと、「さくら」と「咲く」がともに「 $3 \times 9 = 27$ 」であることから3月27日にしたそうです。

今年も、桜の開花が気になります。日本気象協会の3月14日の発表では、「高知で全国に先駆けて3月18日に開花がスタート。続いて九州地方でも開花し始める予想となっています。東京では平年より4日早い3月22日に開花し、29日頃に満開を迎える予想です。非常に早い開花(3月17日)となった昨年からは5日遅れの開花となりそうです。」とのこと。楽しみですね。

春到来とはいえ、気温差のある日々が続いています。くれぐれも、ご自愛ください。春分の満月は、3月21日。まさに春分の日です。お月様、見られるといいですね。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●二十四節気について。

日本人が、その季節、季節を体感し、経験し、それを積み上げて出来上がってきた日本人の暦、二十四節気は経験科学といえるでしょう。

太陽、月、地球の動きを感じ、すべての生命の根源である、自然を感じ、時の経過とともに移ろう季節を感じ取って生きてきた日本人、自然との限りない調和を求めて生活してきたのです。

しかし、いま、コンクリートとガラスと鉄の人工物だらけの中で、人間圏をつくり、生活している現代人にとって、その感覚がだんだんと薄れてきています。失われようとしています。

どうすればよいのでしょうか？！！

必要のないことなのでしょうか？！！

私は、これからの時代に生きる日本人にとって、二十四節気「ともいき暦」は、とても重要な感覚、感性だと信じています。

一日一回「ともいき暦」を。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2019/>

●「ともいき」「ともうみ」「ともさち」。

私たちは、人と人、人と自然が共に生きる「ともいき」、共に生み出す「ともうみ」、共に幸せに生きる「ともさち」を大切にして生活してきました。

これらは個々別々のものではなく、密接に関連しつつ、融和し複合しながら、私たち日本人の心の奥底に存在しています。

そこに貫かれているのは、大いなる回帰循環する自然のもとにあって、人も生きとし生けるものも共に和む「和の精神」です。

それは、私たちの季節感やものの感じ方、宗教的心情やものの見方の根源です。

私たちが、いま、「ジャパネスク」と呼ぶ感性や美意識はその結晶です。

それは、経済至上主義のグローバル化が進行する反面、自国第一主義、保護主義などが進行する複雑な現代において、日本の誇るべき伝統であり、わが国の文化と精神の神髄です。そこにこそ、この国の風土に培われてきた日本文化の特徴と日本人の活力があるといえます。

「ともおいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」のジャパネスクは国際

的な普遍性を持つ次世代の世界の価値観になりうるでしょう！！
誇りと自信をもって、もう一度、力強く「ジャパネスク」を取り戻し、世界
に訴えていこうではありませんか！！

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●「春分」の節気に入りました。「暑さ寒さも彼岸まで」といわれるように「春分」の節気に入ると一気に春の到来を感じます。九州地方から桜開花の便りも届きだしました。これから約 2 か月をかけて桜前線が北上します。いよいよ春本番の時季を迎えました。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912 Email : info@ptpl.or.jp